

財政状況等一覧表（平成21年度決算）

(単位:百万円)

団体名 いちき串木野市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
3,887	4,528	551	8,967

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	14,827	14,055	772	618	27	19,565	
児童デイサービス事業特別会計	13	10	3	3			
一般会計等	14,840	14,065	775	621		19,565	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業会計	400	368	32	499	—	2,314	—	2 法適用企業
簡易水道事業特別会計	357	357	0	—	21	1,184	238	
地方卸売市場事業特別会計	10	10	0	—	7	56	34	
公共下水道事業特別会計	1,113	1,113	0	—	205	5,570	3,966	
戸崎地区漁業集落排水事業特別会計	16	16	0	—	4	177	151	
国民宿舎特別会計	95	95	0	—	38	344	9	
国民健康保険特別会計	4,485	4,202	283	283	268	—	—	
老人保健特別会計	34	34	0	—	4	—	—	
介護保険特別会計	3,033	2,966	66	66	411	—	—	
居宅介護サービス事業特別会計	211	196	15	15	100	—	—	
後期高齢者医療特別会計	349	347	2	2	98	—	—	
公営企業会計等 計				865		9,645	4,400	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
いちき串木野市・日直市衛生処理組合	494	476	18	18	19	410	334	
鹿児島県市町村総合事務組合	16,006	15,654	352	352	3	—	—	
鹿児島県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	2,429	2,422	7	7	22	—	—	
鹿児島県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	240,611	232,552	8,059	8,059	3,405	—	—	
一部事務組合等 計				8,436		410	334	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
いちき串木野市土地開発公社	△ 3	124	5	—	—	917	—	35	
地方公社・第三セクター等 計			5	—	—	917	—	35	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	1,030	1,170	140
減債基金	427	427	0
その他充当可能基金	1,162	1,613	451
充当可能基金 計	2,619	3,210	591

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	4.75	6.92	2.17	△ 13.53	△ 20.00	水道事業会計	—	—	—
連結実質赤字比率	13.60	16.56	2.96	△ 18.53	△ 40.00	簡易水道事業特別会計	—	—	—
実質公債費比率	16.4	15.2	△ 1.2	25.0	35.0	地方卸売市場事業特別会計	—	—	—
将来負担比率	121.4	111.6	△ 9.8	350.0		公共下水道事業特別会計	—	—	—
財政力指数	0.45	0.44	△ 0.01			戸崎地区漁業集落排水事業特別会計	—	—	—
経常収支比率	95.9	92.3	△ 3.6			国民宿舎特別会計	—	—	—

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算における基準である。